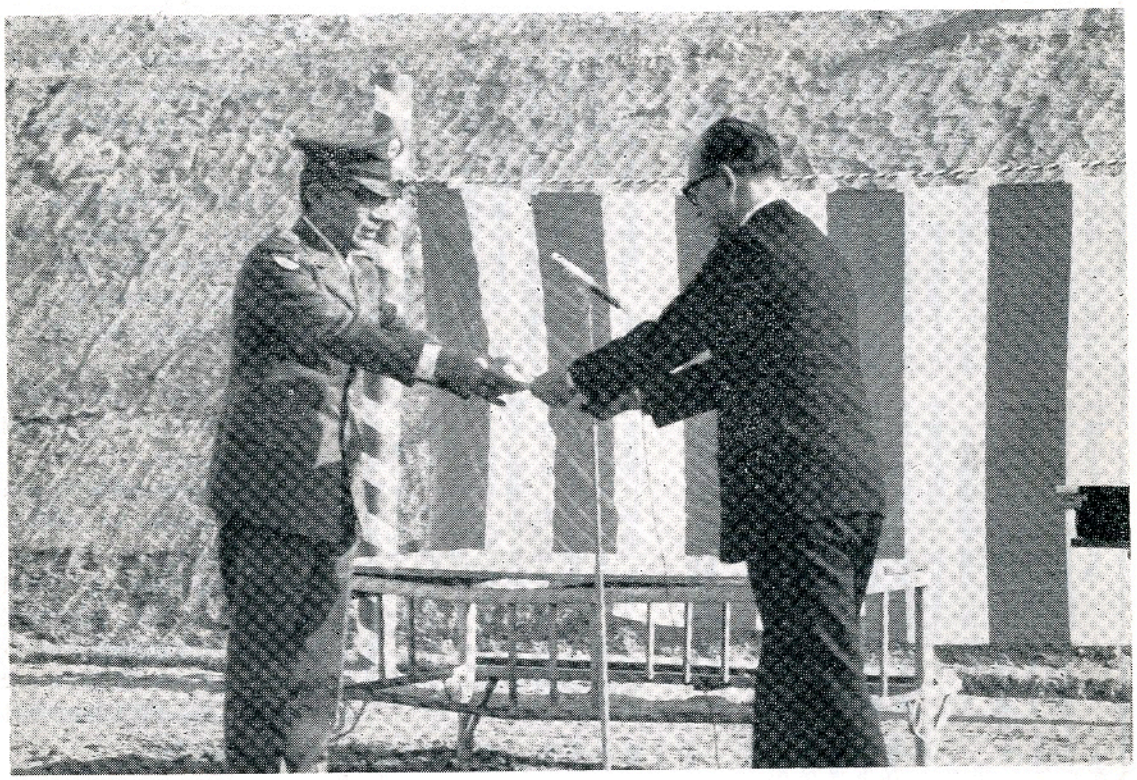
広報
さめがわ

1972
12月号
No.229
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



村民運動場整地工事完了す

社会体育が盛んになり、壮年ソフトボールや家庭バレーボールが広く行われ、スポーツ人口が増加するにつれ、待望されたのは広々とした村の運動場でした。

それが陸上自衛隊東北総監部から派遣された福島駐とん105施設大隊第3中隊（隊長石橋芳美一尉）の作業隊によつて、1ヶ月余の短期間に立派に整地工事を完了し、12月7日宿の入の現地で第6師団長永田陸将から石田村長に引渡しが行われました。

完成した運動場は、総面積32,460平方米、運動場実面積18,000平方米、外に駐車場1,000平方米あり、郡内最大の規模であることはもとより、県内町村でもめずらしいといわれます。

⊙毎月1日は交通事故ゼロ、歩行者優先の日
⊙年末年始の交通事故に注意して下さい
⊙流感に注意しましょう
⊙第3日曜日は「家庭の日」です

今月の人口

（12月1日現在）

人口	6,341	(−1)
男	3,186	(−5)
女	3,155	(+4)
世帯	1,197	(+1)

村税完納運動月間

12月1日～12月25日

継続16カ年全村完納の成績をうちたてましょう

わたくしたちの郷土の繁栄と、ゆたかな発展の原動力は税金です白河県税事務所と村の共同でこの期間中に自主納税の推進運動と併せて滞納整理を進めています。

例年のように自主納税に御協力下さい。

◇　サラリーマンの年末調整

サラリーマンの所得税は、給与の支払者が給与を支払う際に、その給与に応じた所得税を差し引いて納入する源泉徴収制度になつています。

それで12月には、今年1年間の所得税を精算するために、年末調整が行なわれます。

この際扶養控除申告書や生命保険料等控除申告書を正しく提出していただかなければなりません。

また、災害や盗難にあつて雑損控除の受けられる人、多額の医療費を支払つて医療費控除を受けられる人は確定申告（3月15日まで）をして、納めすぎた税金の還付を受けられます。

今月の納税

村県民税　第3期分
国民健康保険税　第5期分

納期限　12月25日です。

おくれず、わすれず、
納期内に納めましょう。

教育のうみ (20)

学制頒布一〇〇年をかえりみる

村長　石田卯子八

明治政府が開国進取の国是を定め、世界の列強に比肩し得る新生日本の形成を目ざした際、邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめんことを期して、明治五年学制を頒布したことは、たしかに卓見であり、時を得た施策であつたことを痛感するものです。

人間性の開発も、社会の繁栄もそれを裏打ちするものは常に教育であり教養であるからです

敗戦を経験したわが国が、二〇余年にして再建復興の実をあげ、世界の経済大国にのし上つたのも、教育の普及と水準の高さがそのかげにあることを思うとき、明治学制の頒布に改めて敬意を表したいのであります。

わが村で学校が創設されたのは明治六年で、六月西野に民家を借りた学校が生れ同年七月西山の馬生田に同じような学校が開かれたことが記録されております

このことから、わが村も学制頒布の直後に学校開設の準備が初められ、校舎を民家にもとめ、士族の有識者を教師とする初等教育が計画され、その翌年実施に入つたものと考えてよいかと思います。

その当時の行政組織は、赤坂西野村、西山村、赤坂中野村、赤坂東野村、石井草村、富田村、渡瀬村の七ヶ村で、戸長役場制度以前のことですから、学校開設というこの仕事は、実に容易でない大事業であつたことが想像されます。

特に西野と西山の両村に学校が創設されたのは、当時西野村の戸数一三一戸、西山村一三六戸で、七ヶ村戸数の五五・五%を占めていた実力者であつたこと、経済力も豊かで、進歩的な考えの人が多かつたためかと思います。

それから一〇〇年の星霜が流れ幾多の変遷がくりかえされて現在に至りました。今や小学校六校、同分校二校。三校あつた中学校は統合されて一校となり、各学校共校舎施設は鉄筋、鉄骨、乃至は木造モルタル構造の近代様式に改築され、有能な教職員七七名が配置され、児童八〇四名生徒四五〇名の教育に当つております。

また遠隔地学童のためにはスクールバス五台が運行され、学校給食センターからは栄養とカロリーに富む給食を全校に配給する制度が採用されました。

高等学校分校は、旧鮫川中学校跡の校舎施設を転用することになり、社会教育の分野は、新築された鮫川村公民館及び分館の担当するところとなりました

新制中学校舎を建てるため鎮守の森を伐つて財源に充てた時代から国庫補助や起債の枠も多くなり、一般財源と合せ、義務教育施設については概ね従来のような地元負担をほとんどなくすまでに至りました。

しかし施設の立派になつたことが必ずしも立派な人間形成に直結するとはいわれず、道義の退廃、青少年の非行、自由をはき違えた放縦、学園の暴力、赤軍事件などを生む素地が現代の教育にないだろうかという疑は誰しもこれを否定できないと思います。

学制頒布一〇〇年の時点に立つて、これからの一〇〇年に向う学制や教育の前途に、現に加うべき改革が決して少くないことを感ずるのであります。



おめでた

十一月

伏木田　鈴木亜紀子　父　勲
後田中　須藤　孝　〃　良孝
大沢　関根　政典　〃　市男
下野町　吉田　利夫　〃　喜栄
仁田　矢吹　早織　〃　正二
寅外平　中畑　哲　〃　満
菅田　山口　晴美　〃　房昭
大塩　大楽　美枝　〃　勝弘
道少田　宗田　幸枝　〃　文夫
滑石　阿久津修司　〃　栄二

おくやみ

十一月

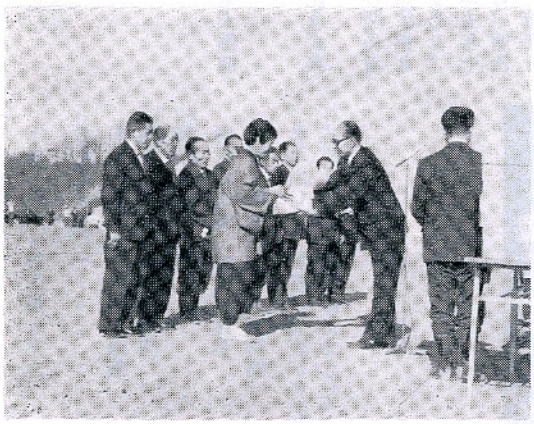
上　高坂シノブ　56才　世帯主
中野町　山形　順作　79才　叶琢郎
田尻　蛭田　貢　72才　光義
大沢　関根　トミ　89才　源治
蕨ノ草　円谷テルヨ　66才　由郎
越虫　国井　重政　70才　善郎
越虫　小野瀬午之介　66才　誠

◇　◇　◇

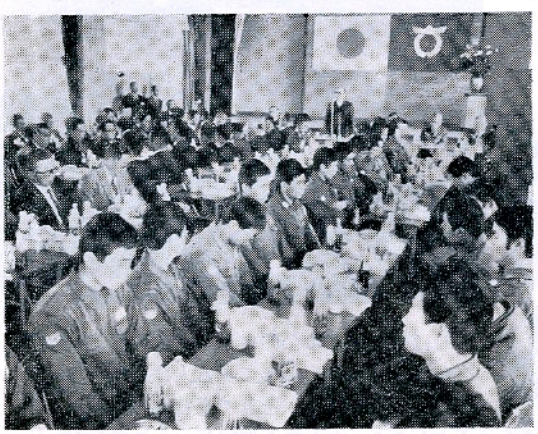
祝村民運動場完成



広大な村民運動場の建設工事は自衛隊の作業隊が1ヶ月余の突貫工事で完工。現地で盛大な完工式が行われました。



広い村民運動場も理解ある地権者の用地提供があつて出来たもの。完工式には村長から感謝状と記念品が贈られました。



規律正しく、作業は能率的で、時には休日休憩時間も返上して働く。しかも心やさしい一面も現れて作業隊の評判は上々でした。

祝福される社会人

鮫川村の成人式は昭和四八年一月一五日（成人の日）に行いますが、本村の成人者は、昭和二七年四月二日から二八年四月一日の間に生れた方々です。

住民票から調査して名簿を調製しましたが、洩れている方や転出しているが、本村の成人式に出席したい方などは、一二月二五日までに、村公民館（電話四二番）に申し込んで下さい。

※（　）内は世帯主

○赤坂西野

水野富雄（一）、白坂良子（邦次）、矢吹ミツエ（一）、円谷隆（正雄）、佐藤文夫（庄市）、高原栄寿（泰治）、須藤きよ子（照司）、白坂信夫（利昭）、藤元忠男（四郎）、石井みつ子（功）、阿久津弥（文男）、矢吹賢市（友春）、植村勝美（直義）、星栄（弘）、鈴木幸子（幸栄）、鈴木ヤイ子（昭松）、鈴木幹子（秀春）、高坂みつ（義光）、須藤かつ子（久）、高坂つや子（武）、白坂シマ子（助雄）、藤元春江（美）、白坂正（勝）、北条京子（チョ）、石井初代（利雄）

○西　山

我妻文雄（鉄雄）、水戸みつ子（啓）、山本勝夫（正夫）、高野みつ子（佳）、国井君子（勝吉）、関根美代子（長一郎）、関根一男（義明）、三瓶次男（美甲子）、松崎ちよ（清）、松崎照子（甲子男）、我妻常子（久治）、我妻和子（久雄）、石井喜美江（栄一）、関根善徳（保夫）、阿久津市男（達也）、関根綾子（光雄）、関根栄（義栄）、関根芳一（多吉）

○赤坂中野

石井富士男（勝重）、石井喜美枝（勝重）、大池義剛（基義）、高木道宏（トミ）、水野朋子（成男）、矢吹ツヤ子（豊治）、五十嵐喜代子（太一）、緑川幸子（利清）、岡部武夫（竹之助）、小松光代（誠）、金沢千江子（守）、

○赤坂東野

緑川義一（末治）、佐藤テツヨ（賢三郎）、斉藤いさ（勇）、関根照枝（高市）、松崎文男（昭義）、渡辺洋二（幸太郎）、斉藤政明（正光）、鈴木利己（美佐）、森相子（征治）、佐藤元治（和男）、早川隆（光久）、石井照也（輝二）、蛭田さよ子（四一）、吉田みつの（芳弥）、前田サダ子（甲子男）、田子己江（フジ）、湯座次子（一吉）、窪木文子（敏郎）、中川西てる子（栄枝）、白井加代子（和男）、鈴木スミ子（秋男）、山本うた子（悦男）、藤田進一（和昭）、中川西幸子（源逸）

○富　田

松本利美（太一）、青戸まゆみ（敏哉）、宗田ハルエ（修一）、渡辺辰二（作太郎）、吉保薫（重利）、国島侑子（郁男）、大平三仟子（江田三郎）、石井清一（清重郎）、鈴木ハツ（利男）

○渡　瀬

高久利道（友義）、藤田一成（新一）、藤田甫（富男）、木之内茂雄（清）、石井重男（忠男）、蛭田和子（正）、蛭田幸枝（勲平）、鈴木たつ子（正二）、藤田節子（俊代）、藤田元子（一郎）、藤田洋子（春雄）、藤田八重子（義雄）

○青生野

棚井重子（伝）、吉成正光（義雄）、鈴木千江子（清司）、大竹悦子（光寿）、金田十一（七五三明）、大竹れい子（保）、国井辰雄、八代伊久（倉之助）、三瓶フクヨ（春男）

成人者の感想文をお寄せ下さい（一二月二五日まで公民館へ）

第二五回鮫川村文化祭

学制発布百年記念式典

十数年ぶりに無形文化財「さゝら」の公開

恒例の鮫川村文化祭は第二五回となり、今年も盛大に一一月二一日から三日間、村公民館と鮫川中学校を中心に開催されました。

今年は特に無形文化財に指定されている江竜田部落の「さゝら」の公開や、自衛隊音楽隊の大演奏会が行われ、お母さんお嫁さんに感謝する会の会場となつた鮫中屋内運動場も、一般参観者などで超満員となり特別出演した鮫川民踊会及び塙民謡会の皆さんも大熱演で盛会でした。



壇上は顕彰された教育功労者の方々

厳粛に学制発布百年の記念式典

一一月二一日に来賓及び関係者約一五〇名を鮫川村公民館に招き盛大な記念式典を挙行しました。

今から一〇〇年前の明治五年七月に学制が発布されてから、明治大正、昭和の三世を通じ、教育行政が限りなき進展を遂げており、鮫川村でも、鉄筋コンクリート三階建ての堂々たる統合中学校舎をはじめ、分校に至るまですべての小学校舎の改築近代化が行われ、体育館、水泳プール等の施設も着々整備の段階にあり、給食は全校完全給食となりました。

村では、この機会に学校教育、社会教育及び教育行政に貢献された次の方々を顕彰し、その功績をたたえました。

（学校教育部門）

故北条多満吉・故水野市之助
矢内　嘉続・故小滝　正春
杉山　忠男・松本　清寿
故白坂　勇次・安藤　祐夫
（社会教育部門）
国島　義広・故山形　孝之
（教育振興部門）
白坂　勝弥・故大池　康義
鈴木　春栄・加藤　信男
（教育行政部門）
阿久津辰弥・吉田　義美
水野　義包・　（敬称略）

また当日は、村章の発表が行われ式典に一段と花を添えました。

◇　◇　◇



家庭を守るお母さんやお嫁さんに感謝しようと、数年前に企画されたこの会は年々盛会で、今年は900名の出席者があり、唄や踊りを観賞しながら楽しい一日を過ごしました。



しばらくぶりで公開された江竜田部落の無形文化財「さゝら」初めて見る人は意味がわからない様子でしたが、それでも首をかしげたり拍手をしたり、なかなか興味深いものでした。


選ばれた健康優良児（17名）が、文化祭に表彰されました。村長を囲んで記念撮影をするお母さん方のニコニコ顔もごらん下さい。

火の元に注意して下さい





好評だつた文化祭の老人作品展、最終日に即売したがたちまち売切れ……

◇ ◇ ◇

火災予防 ‖歳末特別警戒‖

毎年この季節になりますと空気がかわき、ほんの小さい火種から大火災になりかねませんので、火の取り扱いには十分気をつけて下さい。

特に冬の期間は、石油風呂釜石油ストーブ、暖房器具等から「火事を出さないために」次のことをよく守つて下さい

一、暖房器具は、燃え易いものそばで使わない。

二、器具のこわれているものは、完全になおす。

三、ときどき、器具の手入れも、点検する。

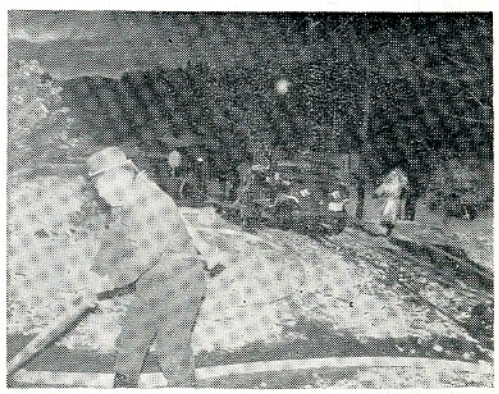
四、説明書にしたがつて、正しい使い方をする。

五、給油は、火を消してから

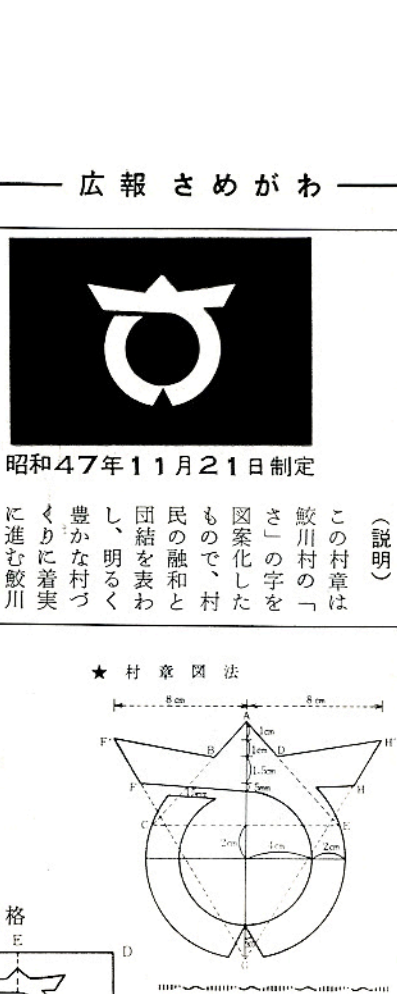
六、火を消したら、完全に消えたか、どうか、確かめましょう。

火事のときは、すぐ一一九番へ

白河消防署鮫川出張所



末だ明けやらぬ午前6時、常備消防と鮫川消防団（第1分団）が共同で、給食センター附近から出火という想定で緊急出動配備訓練を実施しましたが、火災通報をうけてから2分以内に放水開始という好成績でした。

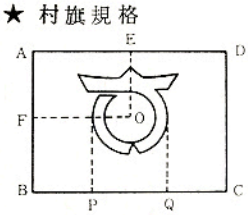


昭和47年11月21日制定

（説明）
この村章は鮫川村の「さ」の字を図案化したもので、村民の融和と団結を表わし、明るく豊かな村づくりに着実に進む鮫川村を象徴したものである。

★村章図法

★村旗規格



1. ABの2に対し、ADは3とする
2. ABの10に対し、AFは5とする
3. ADの10に対し、AEは5とする
4. BCの10に対し、PQは4とする
5. 鮫川村旗の地色は群青（ウルトラマリン）とし、マークは白色とする
6. 旗ざおは、旗の左側につけるものとする

衆議院総選挙終る

去る一二月一〇日の衆議院議員総選挙及び最高裁判官国民審査は危ぶまれた天候も回復し、有権者の関心も深く、大変よい投票率となりました。東白川郡内で第一位、白河行政連絡室管内では第二位、県下でも上位の成績を収めました。

鮫川投票区		九一、七四％
西野	〃	九三、七三％
西山	〃	九四、二七％
富田	〃	九五、八〇％
渡瀬	〃	九六、一六％
青生野	〃	九三、〇三％
戸草	〃	九四、九〇％
大房	〃	九一、一〇％
計		九三、六一％



西野小屋内運動場落成

このたび待望の西野小学校屋内運動場が新築され、12月1日盛大に落成式が行われました。

建築面積　375㎡（競技室330㎡）
ステージ　23.4㎡、控室　21.6㎡
工事費　13.700.000円（本工事分）
工事請負　高田工業株式会社



交通事故をなくす県民運動

一二月二〇日から明年一月八日までの二〇日間，,歩行者の交通事故をなくす県民運動‘‘が県内一斉に実施されます。

交通事故の多くは運転者、歩行者の交通ルールの無視、モラルの低下から起きるといわれています

年末、年始にかけてさらに交通事故の多発が予想されますので、お互に十分注意しましょう。

◎家庭のお母さん方へ

・まずお母さんが正しい歩き方、横断のよいお手本を示しましょう

・交通安全家族会議のリーダーになり話しあいましょう。

・家族の運転する車のカギは、お母さんが保管するようにしましょう。

・車を運転してきた来客には酒をすすめないようにしましょう。

◎歩行者のみなさんへ

・急に手をあげて横断しない。横断歩道、歩道橋を利用するようにしましょう。

・横断するときは、右、左さらに右の安全確認をしてから横断しよう。

・幼児のひとり歩き、路上遊ぎなどを見たら注意してやりましょう。

◎運転車のみなさんへ

・横断歩道では一時停止、徐行を励行しよう。

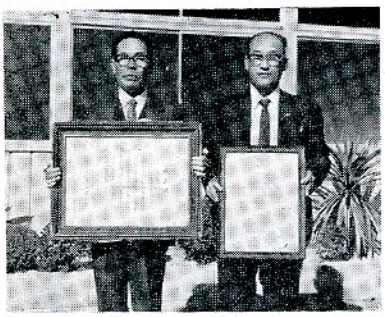
・無理な追越し、追抜き、スピードの出し過ぎはやめましょう。

・家族を泣かせる酒のみ運転は絶対にやらないようにしましょう

とうけい

四七年の工業統計調査が一二月三一日現在で、本村内の製造業を営なむ事業所を対象に行なわれます。大字富田、松本好雄調査員が伺いますので、調査にご協力下さるようお願いします。

優良国民年金組合に感謝状



まる一一月八日に開かれた福島県国民年金大会の席上、本村の渡瀬国民年金組合に社会保険庁長官賞、又県知事賞が富田国民年金組合に贈られました。

こうした優良組合が毎年村内から出ることは年金制度に対する理解の現われであつて深く感謝にたえません。

心暖まる募金

一二月一日から全国一斉に才末たすけあい運動が展開されておりますが、当村では一般村民の方々の他、村内で操業の繊和工業、田中メリヤス工業さんからも多額の募金があり、すでに目標額が達成され、厚くお礼申し上げます。

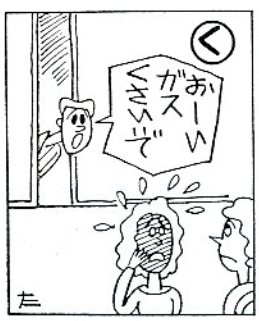
皆様からお寄せいただきました御厚情は、めぐまれない施設に入所している人々、また長い病気等でお困りの人々のために、明るい希望の光と明白への励しを与えるため役立たせていただきます。

村社会福祉協議会

渡瀬小に雑布寄附

渡瀬字木之根、赤坂キノ（九六歳）さんが校舎をきれいにして下さいと雑布五〇枚を寄附して、児童たちから大変感謝されています

ガスもれ危険
くさいときにはすぐ注意



編集後記

まもなく大晦日、また除夜の鐘が鳴りひびいてくる。いつもながら月日のたつのは早いものである「広報さめがわ」も編集では苦労しどおしでしたが、何んとか発行し続けてきたことをうれしく思つています。皆様の御協力に深く感謝します。

今年は学制発布百年目、本村では盛大に式典を挙行した。社会の情勢はめまぐるしく変り、教育施政の伸張も一段と目覚ましい。正に先人の明として敬意を捧げたい

一一月二一日、この日が村民の融和と団結を表わし、明るく豊かな村づくりに着実に進む鮫川村を象徴する念願の「村章」が制定された記念すべき日である。制作者の中井恒峯氏に感謝申し上げたい

新年号から一頁に掲げ、伸びゆく大鮫川村の象徴としたい。

年末、年始はとかく酒が多く用いられるとき、暴飲暴食で健康を損しないよう、カゼなどひかぬよう注意したいものです。そして楽しい一九七三年の元旦を迎えようではありませんか。

また交通事故防止と火災予防については毎度ご注意を促して参りましたが、これからも無事故で一家団らんの日が続くことを祈り編集後記を終ります。